国際人権法学会

第 36 回（2024 年度）研究大会プログラム

日時 ： 2024 年 11 月 16 日（土）・17 日（日）
会場 ： 成蹊大学（東京都武蔵野市吉祥寺北町３－３－１）
開催校幹事 ： 新村とわ（成蹊大学法学部教授）

［テーマ］

武力紛争と国際人権

［企画趣旨］

「人権」を根底から見直した 2022 年度、「法学」の技法を再検討した 2023 年度に続き、2024 年度は人権が体現される場としての「国際」を考察の課題とする。

「国際」の狭間で戦禍に巻き込まれる個人にとって、武力紛争は等しく影響を及ぼすわけではなく、これまで差別や不平等に晒されてきた人々（女性、子ども、移民・難民、障害者、高齢者など）に不釣り合いな影響を与える。さらに、武力紛争に「非国家」主体が関与する事態や、技術の発展により兵士や市民が「領域外」から関与する方法も増加してきた。こうした「国際」性の揺らぎは主権国家の位置づけを相対化し、人権のあり方に変化をもたらしている。国際人権法、人道法に違反すると考えられる行為が公然と繰り返される一方、そのアカウンタビリティが容易に問われず、国連憲章をはじめとする国際法秩序が現実を止められない現状を前に、改めて国際人権法の存在意義や、研究者、実務家として何ができるかが深刻に問われている。

本大会では、これらの戦争に関する諸問題を多面的に考察し、学会設立趣意書にあるように、「国際的なかかわりの中の人権を考える」機会としたい。

第 1 日（11 月 16 日（土））

受付開始：09:30　会場：本館大講堂

◆ 午前の部 （10:00～11:45）

1）理事長挨拶（10:00～10:05）　山元一（理事長・慶應義塾大学教授）
2）企画趣旨説明（10:05～10:10）　南野森（企画委員会主任・九州大学教授）
3）総論的研究報告（10:15～11:45）　司会： 根岸陽太（西南学院大学教授）

① 岡 真理（早稲田大学教授、非会員）
「パレスチナ――人権の番外地」
② 古谷修一（早稲田大学教授）
「人権侵害の集積としての武力紛争――国際人権法の適用を導く背景」

◇ **昼休み（11:45～13:45）**

※休憩室：本館 3 階談話室 ＆ 6 号館地下カフェ＆ホール COMMichi

◇ **理事会（11:55～13:35）**　会場：6 号館 6 階 601B&C 会議室

◆ 午後の部（13:45～17:40）

4）特別講演（13:50～14:40） 司会： 伊藤和子（東京弁護士会所属、ミモザの森法律事務所）

③ 高橋宗瑠（大阪女学院大学教授、元国連人権高等弁務官事務所パレスチナ副代表）
「国際法とパレスチナ――民族自決権が否定されるパレスチナ人」

5）各論的研究報告（14:50～17:40） 司　会：高山佳奈子（京都大学教授）
谷口真由美（佐賀女子短期大学客員教授）

④ ステファニー・クープ（青山学院大学准教授）（14:50～15:20）
「被占領下パレスチナにおけるジェンダー暴力――ガザ紛争を中心に」
⑤ 新井 京（同志社大学教授）（15:20～15:50）
「国際人道法における『人』」

＜10 分休憩（15:50～16:00）＞

⑥　清末愛砂（室蘭工業大学教授、非会員）（16:00～16:30）

「憲法視点からみるパレスチナ――平和的生存権と 24 条」

⑦　大道寺隆也（青山学院大学准教授）（16:30～17:00）

「選別と排除に抗する――紛争避難民対応をめぐる人権と人道」

質疑応答（パネルディスカッション）（17:00～17:40）

＜10 分休憩（17:40～17:50）＞

◇ **総会（17:50～18:30）**

◇ **懇親会（18:45～20:45）会場：6 号館地下カフェ＆ホール COMMichi**

第 2 日（11 月 17 日（日））

受付開始：09:30　会場：本館大講堂

◇ **理事会（09:00～10:00）会場：6 号館 6 階 601B&C 会議室**

◆ 午前の部　（10:15～12:00）

6）裁判例研究　　司会：　鈴木雅子（東京弁護士会所属、いずみ橋法律事務所）
館田晶子（北海学園大学教授）

1．性同一性障害特例法違憲判決（10:15～11:05）

⑧ 大山知康（岡山弁護士会所属、ゆずりは新見法律事務所、非会員）

⑨ 春山 習（亜細亜大学講師、非会員）

2．旧優生保護法違憲判決（11:05～11:55）

⑩ 新里宏二（仙台弁護士会所属、新里・鈴木法律事務所、非会員）

⑪ 中尾元紀（東京理科大学講師）

◇ **昼休み（12:00～14:00）**＞

※休憩室：本館 3 階談話室　＆　6 号館地下カフェ＆ホール COMMichi

◇ **インタレストグループ報告会（12:15～13:45）**

- ICC インタレストグループ（代表者：竹村仁美／会場: 6 号館 6 階 602B 会議室）
- フェミニズム国際法インタレストグループ（代表者：川眞田嘉壽子／会場: 6 号館 6 階 601A 会議室）
- 外国人の出入国と在留に関する研究グループ（代表者：近藤 敦／会場：6 号館 6 階 601B&C 会議室）
- 先住民族の権利を学際的に考えるインタレストグループ（代表者：小坂田裕子／会場：6 号館 3 階 301 教室）
- 多層的人権保障システム研究グループ（代表者：小畑 郁／会場：6 号館 5 階 502 教室）

◇ **若手人権問題研究会（12:15～13:45）** ※会場：6 号館 5 階 501 教室
「若手研究者による人権教育座談会」

◆ 午後の部（14:00～16:45）

7）公募報告（14:00～14:50） 司会：楠 晋一（大阪弁護士会所属、京橋共同法律事務所）
吉田暁永（早稲田大学講師）

⑫ 大橋佳美（早稲田大学大学院）
「移行期正義下の人権救済と国際人権法の役割」

⑬ 篠原 翼（筑波大学非常勤講師）
「国際法の観点から検討するスポーツにおける『国籍』について」

＜10 分休憩（14:50～15:00）＞

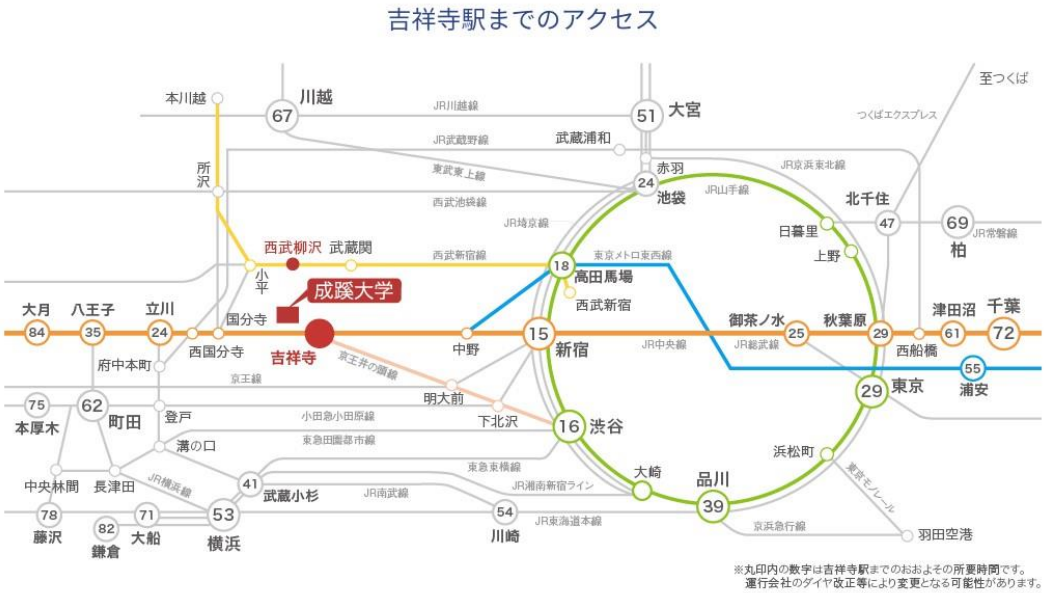
8）外務省人権人道課による講演（15:00～15:40） 司会：南野 森（九州大学教授）

⑭ 尾﨑壮太郎（外務省総合外交政策局人権人道課長、非会員）
「国際人権法、国際人道法をめぐる最近の動向」（仮）

9）国際機関の現況報告（15:45～16:15）
司会：小川隆太郎（東京弁護士会所属、東京共同法律事務所）

⑮ 大谷美紀子（子どもの権利条約委員会、東京弁護士会所属、大谷＆パートナーズ法律事務所）
「国連子どもの権利委員会における子どもと武力紛争に関する活動の展開」（仮）

［会場アクセス］



JR中央線・総武線 (東京メトロ東西線) 京王井の頭線	【吉祥寺駅】下車 吉祥寺駅より徒歩約15分 吉祥寺駅北口バスのりば1・2番より 関東バス約5分『成蹊学園前』下車
西武新宿線	【西武柳沢駅】下車 西武柳沢駅南口より 関東バス（吉祥寺駅行）約15分『成蹊学園前』下車

【成蹊大学キャンパスマップ・バリアフリーマップ】
https://www.seikei.ac.jp/university/aboutus/campus_uni/
https://www.seikei.ac.jp/university/upload/pdf/campuslife/syougai/barrier_free_map.pdf